

日本OP協会 殿

提出日 平成 27年 3月 13日

氏 名 宇田川 真帆

2015年 国際OP級計測講習会／ERS資格新規取得講習会 報告書

以下のとおり講習会の報告を致します。

1. 報告者の所属 横浜計測センター
2. 講習会名 2015年 国際OP級／ERS計測講習会
3. 開催場所 江の島ヨットハーバー
4. 開催日時
 - ① OP級計測講習会 2月28日 10:00～16:00
 - ② ERS講座 3月 1日 9:00～15:00
5. 講習会内容 *詳細は、8.添付資料「2015実施報告書」を参照
 - ① OP級計測講習会
 - 1) 各組織の役割と権限
 - 2) 計測員とは
 - 3) 計測の種類
 - 4) 大会計測での役割
参考資料：セール・ザ・ガルフ／カタール国際レガッタ報告書
 - 5) 準計測員講習 修了証授与
 - ② ERS講座
 - 1) セーリング装備規則2013-2016 の解説
 - 2) 計測員の役割
 - 3) 選手として参加した事で見えてくる計測
参考資料：国際ミラークラス世界選手権2015／南アフリカ報告書
 - 4) ERS講習 修了証授与

6. 講習会の 概要

- 1) 2007年から JSAF が公式計測員管理の実施をして以来、各クラス共通の ERS資格の伴うこととなり、新規での受講の方のためにも 国際OP級計測講習会と ERS講座でそれぞれ1日使い、余裕を持ったスケジュール、尚且つ 週末の2日間で集中できるように設定した。
- 2) 参加人数は OP級計測講習会 34名（内 ERS講座 6名）と過去最多の人数であった。今年度(2015年) は最終選考会と全日本の両大会が 江の島開催予定という事もあり、ホストクラブや 関東周辺クラブの関心が 高まっている傾向であるとうかがえる。

パワーポイントと 資料を見ながらの 受講の様子



6グループに分かれての セール計測実習の様子



最後は 講師と34人全員で 記念撮影



7. 講習会の必要性と計測体制の目標

1) 準計測員の役割

公式なレースの開催には、その大会のグレードに見合う大会計測の精度が必要となり、そのためにも大会計測員を育成しなければならない。JODAは準計測員をこれに充て公式計測員を各担部署のチーフとし、ホストクラブ更に周辺クラブからの補助員と合わせて、3種類の人員構成で計測チームを編成することが有効と考える。

☆ 公式レースでの各部署計測チーム構成 (案)



2) 公式計測員の役割

公式レースに参加する選手、または参加させる為にクラブ所有の装備品を貸し出すクラブなどが、計測証明された装備品を用意しなければならず (RRS規則78) 証明を受ける為には公式計測員若しくは、計測センターまでの装備品の運送費が高いことが問題となる場合が多い。

身近に公式計測員がいる事で運送に要する時間を省くことができ、運送ではなく車での運搬が可能であれば直接打ち合わせをしてすすめることができる。運送費を抑えること、要する時間を短縮できることは依頼者側にとっても大きなメリットである。

3) 公式計測員の活動

公式計測員の方には、セールナンバーの計測やフル計測までいかないシンプルな計測に対応していく事で身近に計測員がいるというアピールにも繋がる。

更に各エリアに計測関連での指導的相談的な役割を任せられる人材を育てることができればそのエリアにとっても心強いことであると考えます。

4) 公式計測員同士の活動

公式計測員としてすでに活動されている方や取得後間もない方などの情報共有の場として、勉強会 (計測実技、CR など) を年に1回でも開催することが出来れば、お互いの意識を高めるきっかけとなると考える。また計測のみならずOP級計測講習会などを講師とともに組み立て、当日も補助する立場で参加していくことで、講習会を受講されたことの無い身近な方などの関心を集めることが期待でき、講習会の参加者人数の充実、それは結果的に今後の公式なレースでの計測環境を整えることができると考える。